

主な特長

- 最大出力170 Wの余裕あるパワー（4Ω負荷）
- 最大出力400 W × 2のハイパワーが得られるアンプとしても使用可能（ブリッジ接続）
- ラインアウト端子を持たないカーオーディオのスピーカー出力をダイレクトに接続することができるハイレベルインプットを搭載
- ローパスフィルター、ハイパスフィルターおよびローブースト回路を内蔵
- アンプ内部の温度上昇やスピーカー保護のための保護回路内蔵
- システムの動作確認に便利なテストトーン機能を搭載
- 安定した電源を供給する高効率パルス電源*を採用

* パルス電源
DC12Vのバッテリー電源を半導体スイッチによって高速パルスに変換し、それをパルストランスで昇圧、さらにⓇⓈ電源にふり分けたあと再び直流（DC）に戻すコンバーターのことで、小型軽量で、低出力インピーダンスを有する特性をもっています。

各部の名称と働き

- POWER/PROTECTOR

POWER

OVER CURRENT

OFFSET

THERMAL

1

2

3

4

5

6

7
- TEST TONE

LPF OFF HPF

50Hz 300Hz

FILTER

0dB +10dB LOW BOOST (40Hz)

MIN MAX LEVEL
- 1

POWER（電源）インジケーター

本機の動作中、緑色に点灯します。
- 2

PROTECTOR（保護回路）インジケーター

オーバーカレント

• OVER CURRENT：スピーカー端子がショート（短絡）しているときや異常に大きな音が入ったときに赤色に点灯します。

オフセット

• OFF SET：入出力端子（スピーカー端子もしくはピンジャック）に異常電圧が出たときに赤色に点灯します。

サーマル

• THERMAL：アンプ内部の温度が異常に高くなったときに赤色に点灯します。
- 3

TEST TONEボタン

ボタンを押すと内蔵している発振器が作動しシステムの状態をチェックします。ボタンを押して音が聞こえれば正常です。
- 4

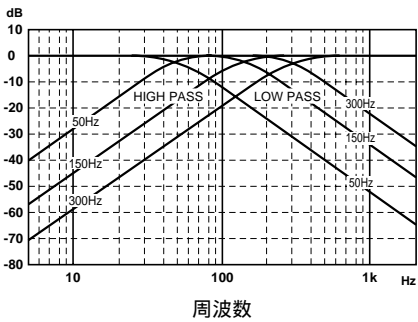
FILTER選択スイッチ（フロント/リア）

LPF側になるとローパス（低音域通過）フィルターがかかり、HPF側になるとハイパス（高音域通過）フィルターがかかります。
- 5

カットオフ周波数設定つまみ（フロント/リア）

ローパスまたはハイパスフィルターをかけた場合のカットオフ周波数（50～300Hz）を設定します。

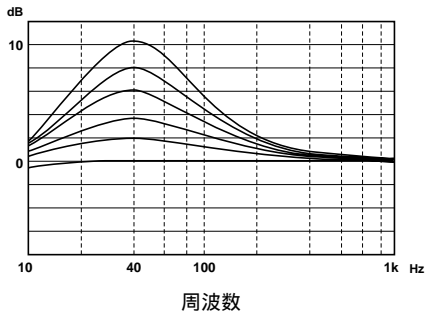
周波数特性（代表例）



- 6

LOW BOOSTつまみ

つまみを回すと、40Hz前後の周波数の音域を最大10dBまで増幅することができます。

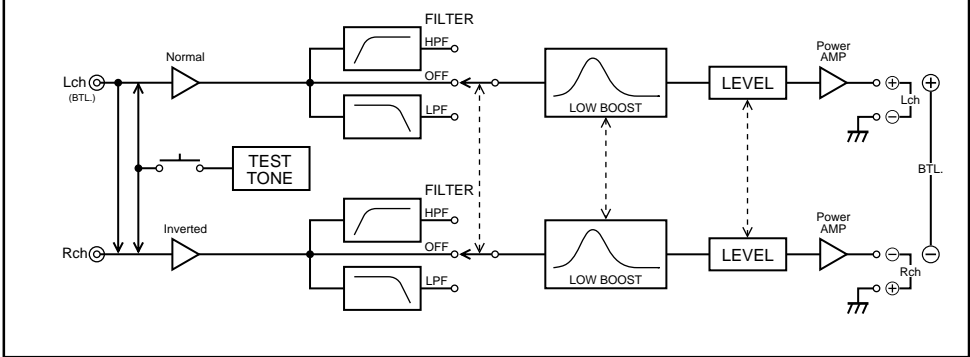


- 7

LEVELつまみ

他社のカーオーディオなどを接続する場合、このつまみで入力レベルを調節します。入力レベルが小さい場合はMAXの方向に、大きい場合はMINの方向につまみを回してください。

ブロック図（フロント/リア共通）



ご注意

設置上のご注意

- 本機は12ボルトマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24ボルト車では使えません。
- 次のような場所への取り付けはお避けてください。
 - 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ
 - 雨が吹き込んだり、水がかかったりする場所や湿気の多いところ
 - ほこりの多いところ
- ヒートシンク面を上にして取り付けてください。ヒートシンクの上にマットやカーペットをかけないでください。
- 本機にはDC-DCコンバーターを使用していますので、ラジオやアンテナの近くに取り付けると、ラジオやテレビ放送の受信に障害をおよぼすことがあります。なるべく離れた位置に設置してください。
- 運転の妨げにならない場所で、同乗者に危険がおよばないところを選んで取り付けてください。
- 取り付けと接続が終わったら、ブレーキランプやライト、ホーン、ウインカーなどすべての電装品が正しく動作することを必ず確認してください。

使用上のご注意

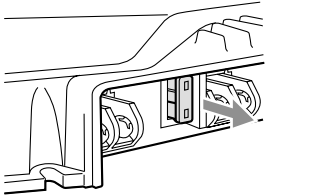
- 窓を閉めきった自動車を直射日光下に放置すると、車内は相当な高温になります。このようなときは、車内の温度を下げてからご使用ください。
- 次のような場合には、出力トランジスターやスピーカーを保護するため、アンプ内部の保護回路が働き、PROTECTORインジケーターが赤に点灯し、スピーカーから音が聞こえなくなります。
 - アンプ内部の温度が異常に高くなった場合
 - 異常が発生してDC電圧が発生した場合
 - 出力端子がショートした場合このような場合には、すぐに接続してある機器の電源を切り、異常の原因をお調べください。温度上昇が原因と考えられる場合は、しばらく放置して本機の温度を下げてからお使いください。
- 弱ったバッテリーで使用しないでください。本機の性能は電源の状況に左右されるため、十分に性能を発揮できません。
- 安全のため、運転中は車外の音が充分聞こえる程度の音量でご使用ください。

ヒューズの取り換えかた

ショートしたときや、本機に故障があるときは、ヒューズが切れ、本機に過大電流が流れることを防ぎます。ヒューズが切れた場合は、電源コード、アースコードの接続を再確認してからヒューズを交換してください。交換したあともすぐ切れる場合は、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

ご注意

指定のアンペア数のヒューズ以外はお使いにならないでください。故障の原因になります。



故障かな？と思ったら

症状	原因（処置）
POWERインジケーターが点灯しない。	ヒューズが切れている。→ ヒューズを交換する。 アースコードが接続されていない。 → 車体の金属部にしっかり接続する。 本機のリモート端子への入力電圧が発生していない（または低い）。 • 接続しているカーオーディオの電源が入っていない。 → 電源を入れる。 • 本機を2台以上でシステムを組んでいる。→ リレーを備える。 バッテリーの電圧が適切であるか（10.5～16V）確認する。
OVER CURRENTインジケーターが赤色に点灯する。	スピーカー出力がショートしている。 → ショートの原因を取り除く。
OFF SETインジケーターが赤色に点灯する。	電源を切り、スピーカーコードおよびアースコードがきちんと接続されているか確かめる。
THERMALインジケーターが赤色に点灯する。	本機の温度が異常に上昇している。 • 適合インピーダンスのスピーカーを使用する。 → 2～8Ω（ステレオ） 4～8Ω（ブリッジ接続） • 風通しの良い場所へ移設する。
オルタネーターの雑音が入る。	電源コードがRCAピンコードに近い。→ RCAピンコードから離す。 アースが不十分である。→ 車体の金属部にしっかり接続する。
音がこもる。	スピーカーの端子が車体に接触している。→ 車体から離す。
音が小さい。	FILTER選択スイッチが「LPF」になっている。 LEVELつまみが「MIN」になっている。

以上の処置を行っても効果が見られないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

取り付けと接続

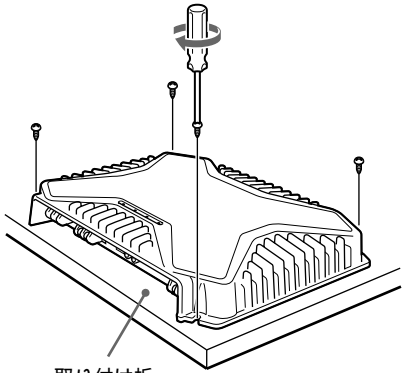
取り付ける前に

- 本機は、トランクルームまたはシートの下に水平に取り付けてください。
- 運転の妨げになるような場所には設置しないでください。また、本機に直射日光やヒーターの熱が当たる場所には設置しないでください。
- カーペットの下は放熱効果が著しく減少しますのでお避けください。

ご自分での取付け、接続が難しいときは、お買い上げ店、またはカーディーラーにご相談ください。

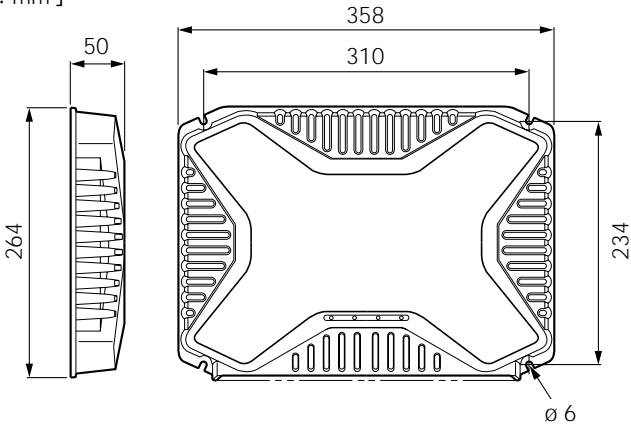
取り付けかた

- 十分な厚み（15 mm以上）と強度をもつ取り付け板をご用意ください。



本機を取り付け板にあて取り付け位置を決め、穴の位置に印をつけます。次に、印をつけたところに直径3 mm以内の穴をあけ、付属のビスを使って本機を取り付け板に固定します。

参考[単位 : mm]

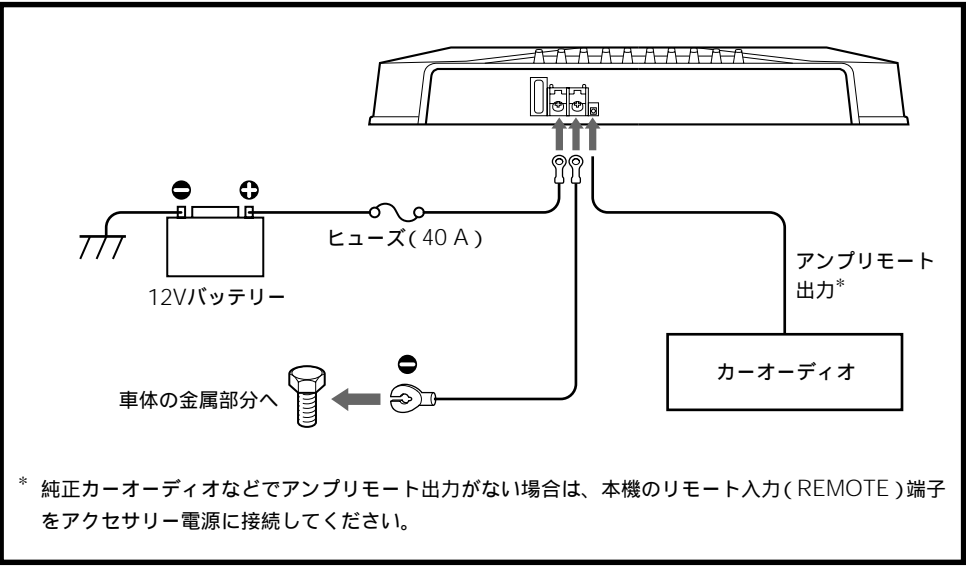


接続する前に

- 作業中のショート事故防止のため、接続の前に必ずカーバッテリーのアースコードを外してください。
- この取扱説明書（取り付けと接続）に記載されている取り付け、接続先の機器は、付属品を除きすべて別売り品（市販品）です。
- 作業中のショート事故防止のため、本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして行ってください。
- 電源コードは必ず最後に接続してください。
- 入出力コードと電源コードを近づけて配線するとノイズが出ることがありますので、できるだけ離して配線してください。
- 本機はハイパワーアンプのため、車に既設のスピーカーコードを使うと性能が十分に発揮されないことがあります。
- スピーカーの⊖側を車のシャーシなどに接続したり、スピーカーの⊖側どうしを接続したりすると故障の原因になります。
- 十分な許容入力待つスピーカーをお使いください。このアンプは大出力が得られますので、許容入力の小さいスピーカーを使用すると、アンプの性能が十分に発揮されないばかりでなく、スピーカーを破損することがあります。
- インピーダンス2～8Ωのスピーカーをお使いください。（ブリッジ接続の場合は4～8Ω）
- 本機のスピーカー端子にアクティブスピーカー（アンプ内蔵のスピーカー）を接続しないでください。スピーカーを破損する恐れがあります。
- 車にナビゲーションシステムなどコンピュータを備えている場合は、アース線をカーバッテリーから外さないでください。外すと、コンピュータのメモリが消去されることがあります。接続時のショート事故を防ぐためには、すべての接続が終わるまで+12V電源線を外しておいてください。



電源コードの接続



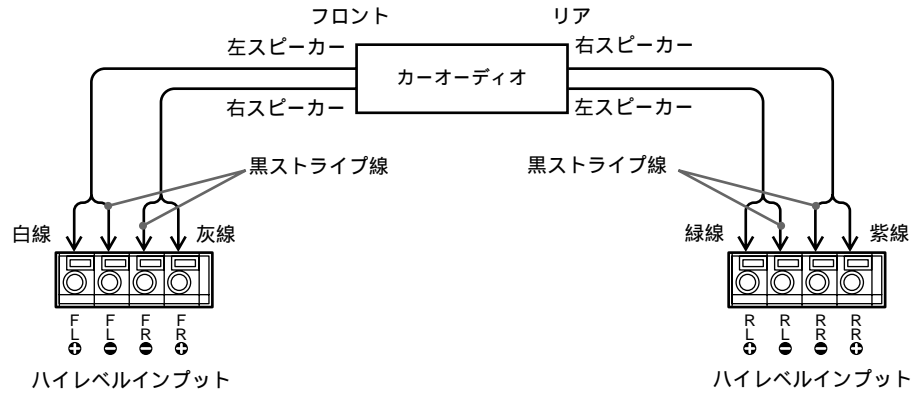
* 純正カーオーディオなどでアンプリモート出力がない場合は、本機のリモート入力（REMOTE）端子をアクセサリ電源に接続してください。

ご注意

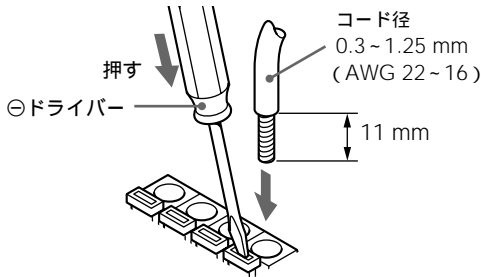
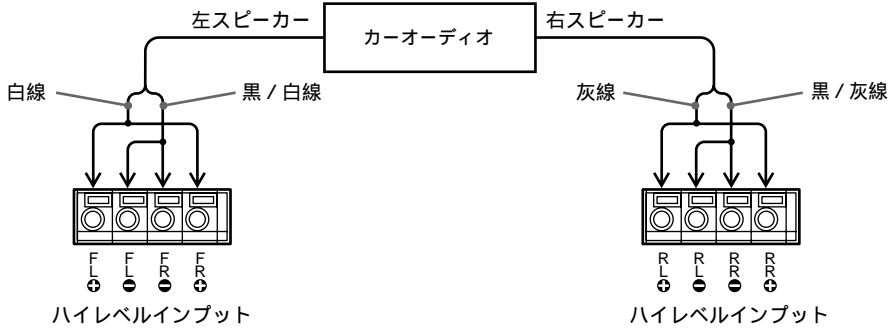
- 電源コードはすべての接続を済ませてから、一番最後に接続してください。
- パワーアンプのアースコードは車の金属部分に確実に接続してください。確実に接続しないと、故障の原因になることがあります。
- カーオーディオのリモート出力コードを本機のリモート入力（REMOTE）に接続してください。カーオーディオにアンプリモート出力がない場合は、車のアクセサリ電源と本機のリモート入力（REMOTE）端子を接続してください。
- 車のバッテリーから直接電源をとる（車のバッテリーから直接、本機の電源端子（+12V 端子とGND端子に配線する）場合、使用する配線コードは太さ10ゲージ（AWG-10、断面積5 mm²）以上のコードを使用し、可能な限りバッテリーに近い位置に必ずヒューズ（40 A）を配置してください。
- 別売りの電源コードRC-46をご使用になるときは、そちらの説明書をご覧ください。

ハイレベルインプット（スピーカーコードダイレクトコネクター）接続

*1

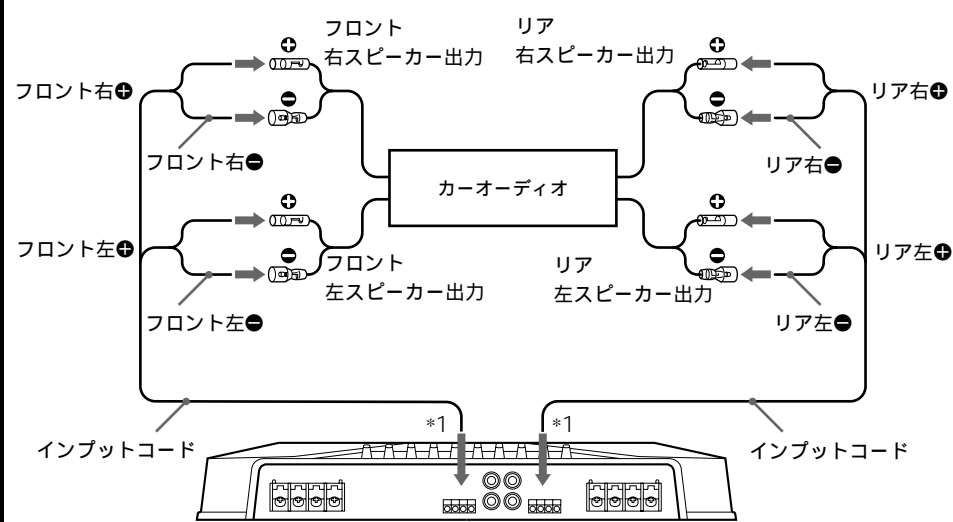


*2

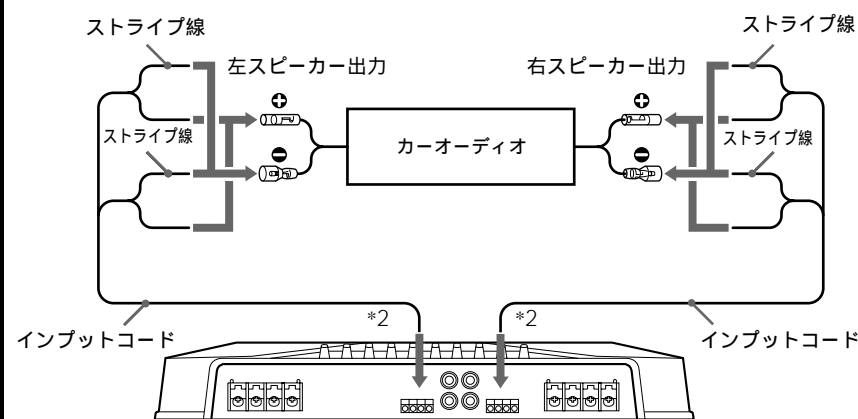


インプット接続

A ハイレベルインプット接続(スピーカーの接続1、2または4の場合)

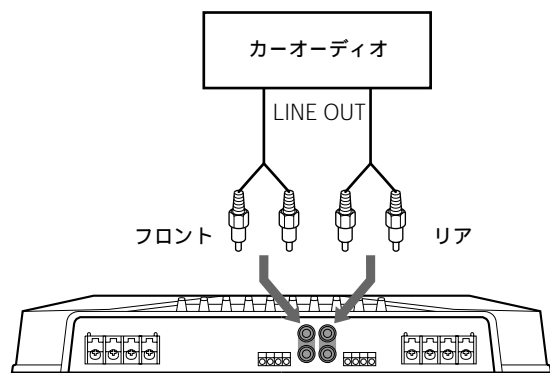


B ハイレベルインプット接続(スピーカーの接続3の場合)

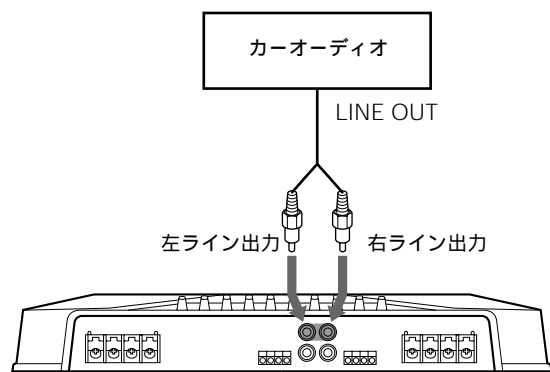


ご注意
カーオーディオの右スピーカー出力はREARに接続してください。

C ラインインプット接続(スピーカーの接続1、2または4の場合)



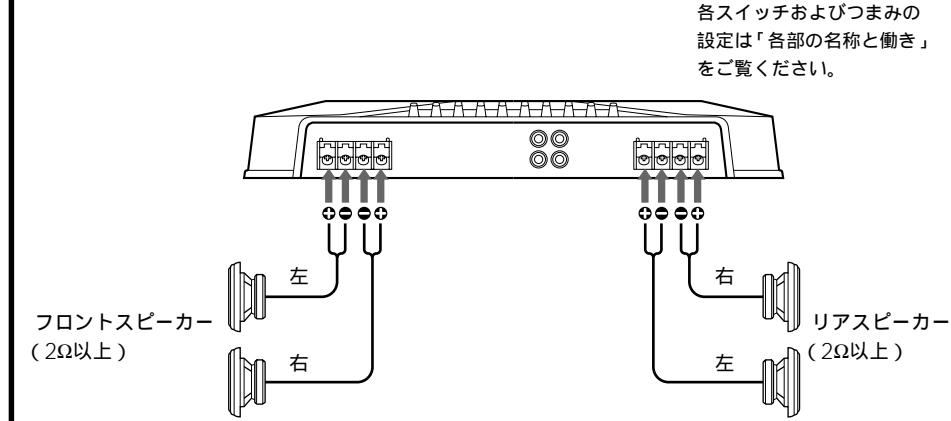
D ラインインプット接続(スピーカーの接続3の場合)



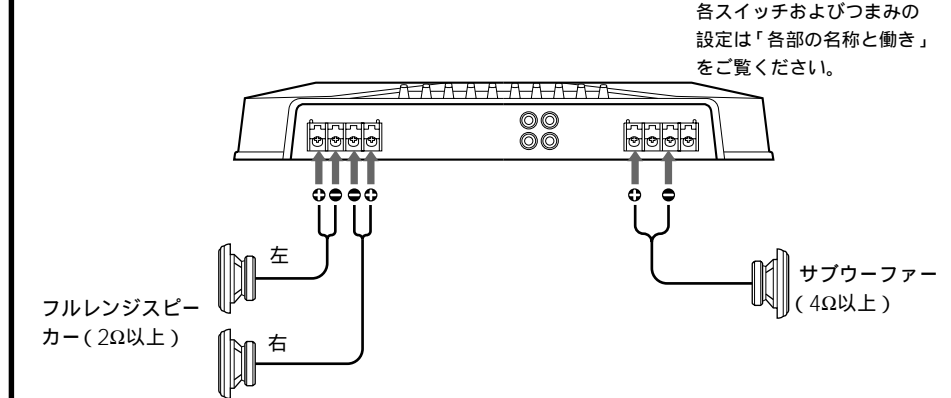
ご注意
カーオーディオのラインアウトはL (BTL) 端子に接続してください。

スピーカー接続

1 4スピーカーシステム(インプット接続AまたはCの場合)

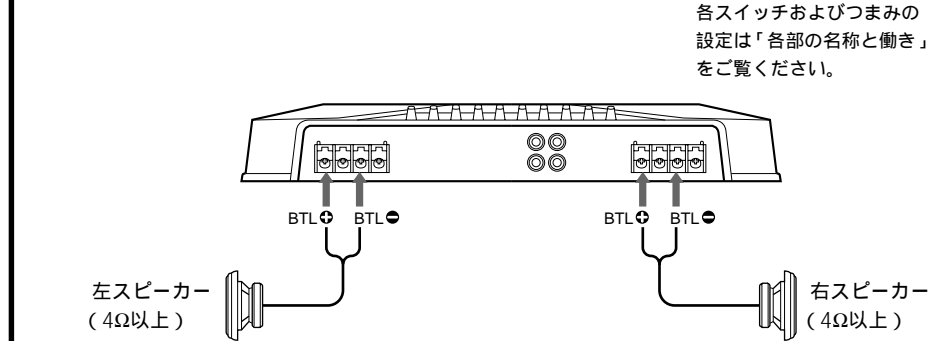


2 3スピーカーシステム(インプット接続AまたはCの場合)

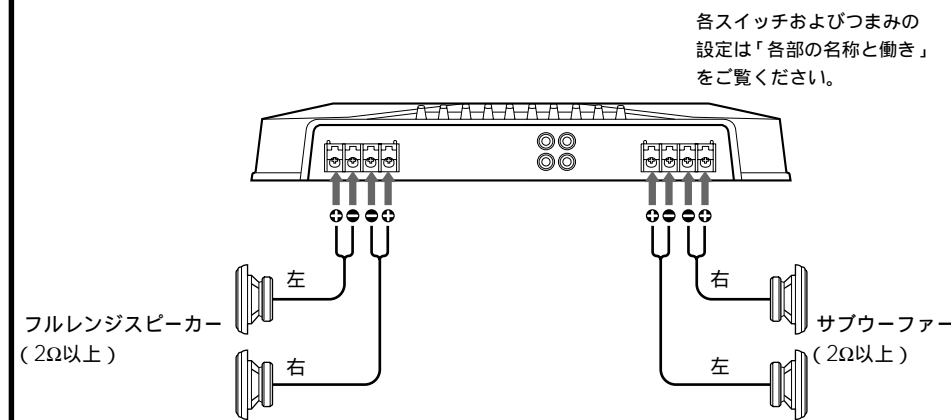


ご注意
• この接続では、サブウーファーの音量をカーオーディオのフェーダーで調節することができます。
• この接続では、サブウーファーの音はREAR L端子とREAR R端子に入力された信号を合わせたものになります。

3 2スピーカーシステム(インプット接続BまたはDの場合)



4 2ウェイシステム(インプット接続AまたはCの場合)



ご注意
この接続では、サブウーファーの音量をカーオーディオのフェーダーで調節することができます。